

令和6年度

文化部活動改革（部活動の地域に向けた実証事業等）

地域文化クラブ活動への移行に向けた実証事業

宮城県角田市

自治体名：宮城県角田市

担当課名：教育委員会生涯学習課

電話番号：0224-63-2221

1.自治体の基本情報



基本情報

面積	総面積14,753 km ²
人口	26,593 人 (R6.9.30現在)
公立中学校数	2 校
公立中学校生徒数	663 人 (R6.5.1現在)
部活動数 (顧問配置数)	運動部25 部活 文化部 7 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済み
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済み

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

少子化が進む中、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことできる機会を確保するために、角田市及び教育委員会では、学校部活動の地域連携と地域移行による部活動改革に取り組みます。

課題 1：生徒数の減少

中学生の生徒数は、直近では同数程度で推移しておりますが、令和 5 年度以降、減少する見込みとなっております。また、生徒数の減少は、部活動種目の維持に対しても影響力が大きく、活動が困難となる部活動が出てきます。

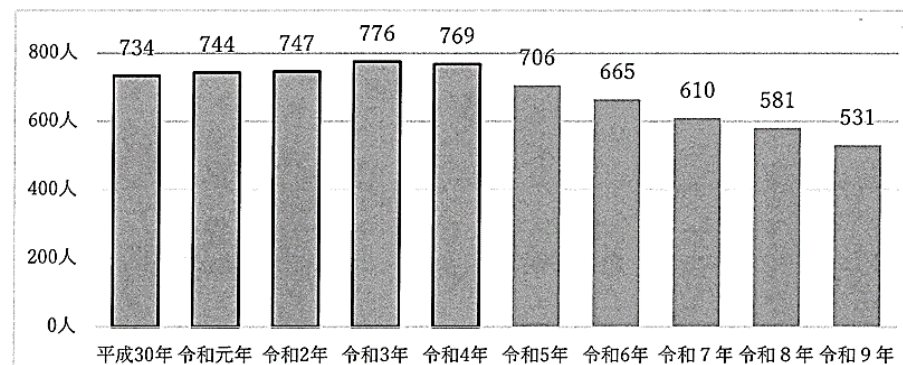
課題 2：教職員の働き方改革

中学校の部活動顧問は、平日・休日問わず生徒の指導を担当し、疲弊しています。

教職員の負担軽減を図りながら、専門種目の外部指導者を配置することで、休日の指導軽減に資する取り組みが重要であると考えます。

以上のことから、本市では部活動の良さを継承しつつ、現状の課題（少子化で現状維持が困難、教員の負担軽減など）を解決する。その際、生徒の生涯スポーツ・文化芸術活動への広がりや地域のスポーツ・文化芸術活動への好循環を創出するため体制整備を行います。

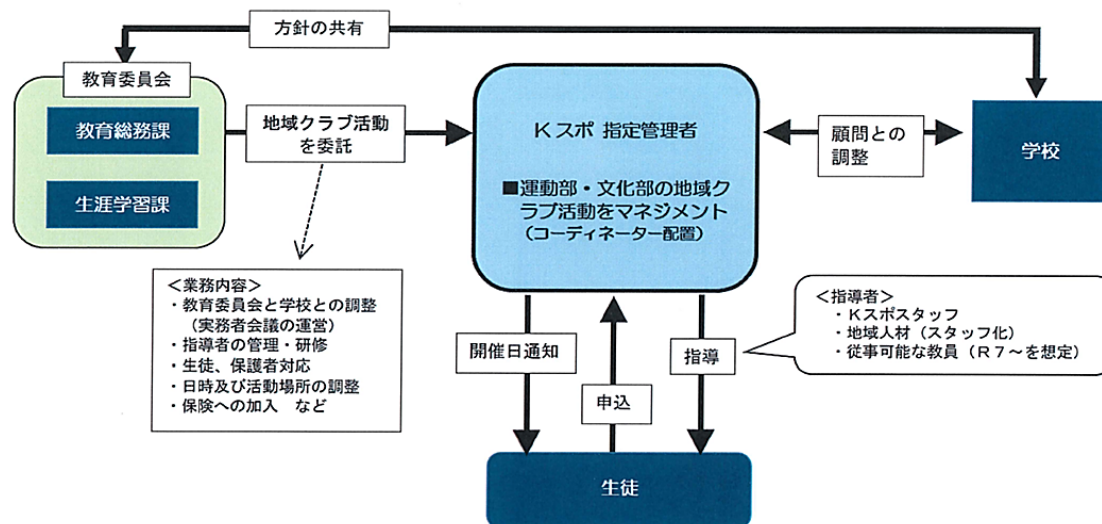
■中学校の生徒数の推移（毎年 5 月 1 日現在の数、令和 5 年度以降は推計）



2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会

教育総務課：学校との調整

生涯学習課：地域スポーツ・文化芸術団体との調整

◎首長部局

予算措置

公共施設所管課：地域クラブ活動での利用の支援（減免）

年間の事業スケジュール

令和6年5月	学校ヒアリング
令和6年6月	スポネット（※）会議
令和6年6月	スポーツ推進審議会
令和6年12月	スポーツ推進審議会
令和7年1月	スポネット会議 （部活動チーム会議）
令和7年2月	スポネット会議
令和7年3月	スポーツ推進審議会

（※）スポネットとは

「スポーツネットワークかくだ」の略。行政、地域スポーツ関係団体、大学、企業で構成し、（公財）笹川スポーツ財団の支援を受ける地域スポーツコミッション（R3.9登録）。スポネット内に専門チームとして「部活動チーム」を設け、当該事業の進捗に係る“協議会”として位置付けている。

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	2 校	実施した地域クラブ総数	0 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		0 クラブ
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	0 人	全体の運営スタッフ数	0 人

②各クラブに関すること

令和 6 年度において、地域クラブへの移行を行った文化部活動は無い。（対象となる休日部活動：吹奏楽部 2 校）
学校等との協議は継続して行っており、令和 7 年度からの移行に向けて準備を続けていく。

③その他、体験会やイベント等の開催実績

昨年度に引き続き、多様な体験の機会の創出のため「+チャレンジ」を実施した。
生徒アンケートで希望者の多かった、①お菓子作り、②茶道教室を実施した。

実施日：令和 6 年 1 2 月 2 4 日（火）
会 場：角田市市民センター 調理室、和室
参加者：4 名

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

コーディネーター（委託業者）
を交えて、学校長及び顧問等
にヒアリングを実施

対象部活動：吹奏楽部

取組の成果

吹奏楽部については、令和7年度に地域移行することで合意を得た。

指導者については、学校の希望に叶う人材を登用することとする。

○学校側のニーズ

- ・活動場所の確保（楽器の保管場所、練習場所）は大丈夫か。
- ・音楽経験者ではなく、吹奏楽の顧問経験者を希望する。
- ・現在の顧問は“やりがい”をもって指導している。
- ・来年度の配置は、教職員の人事異動を見てから顧問を決めるため、少し時間をいただきたい。

○角田市側の確認項目

- ・活動場所については、楽器の保管場所、パート練習時の複数教室の使用を考えたときに学校で実施したい。
- ・指導者の選任については、白紙であるため学校側の求める（紹介する）人材を登用したい。

コーディネーターの具体的な動きの実績

- ・学校ヒアリングに同席し、指導者の登録、派遣方法、報酬等の支払いに係る説明を行った。

今後の課題と対応方針

2 中学校とも、吹奏楽部の顧問の先生が熱心に指導している。
急に外部指導者を派遣するよりも、学校の希望する人材を派遣するよう
に務めた方がスムーズに移行できる。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項

学校とのヒアリングを通じて、「吹奏楽部」の指導ができる指導者の選定にあたり、活動場所の確保と合わせて情報交換を行った。

吹奏楽部の活動特性として、全体練習のほか、各パート練習を必要とするため、一度に複数の会場（現在は学校の教室に分かれて実施）が必要となり、現実的に活動場所は『学校』となることから、学校関係者（吹奏楽部顧問：教諭）の配置が望ましい。

今後の課題と対応方針

左記の理由から、学校としては吹奏楽部の地域移行について、「顧問」の配置を念頭としているとのこと。

新年度に入り、部活動顧問の意向を最大限考慮した上で、休日活動の指導については「兼業」での対応も視野に指導者として確保したい。

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

取組の成果

今年度は、指導者の選任に至らなかったことから指導者研修の開催は行わなかった。

今後の課題と対応方針

来年度に向けては、吹奏楽部の地域移行を進めながら、指導者選定後には運動部活動の指導者と一緒に、活動に係る指導者研修会を実施する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

- 取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組
 オ：内容の充実

取組事項①

吹奏楽部の指導者確保については、学校だけではなく、市内の文化団体や関係者等へ情報提供しながら、充実したクラブ活動となるよう連携を強化する。

取組①の成果

市内の文化ホール（かくだ田園ホール）でコンサート等が行われる際、主催者から無料招待を受けて参加、また、時間が合えば個別指導も受けられた。（陸上自衛隊コンサート時に、空いた時間で演奏指導の場面有り）

取組事項②

文化部の生徒に限らず、全ての中学生を対象に、多様な体験機会の提供「+チャレンジ」を実施した。

取組②の成果

部活動にない種目を、プロの講師から教わる機会として、「お菓子作り」、「茶道」を実施した。

参加者からは「普段体験できないことが体験出来て楽しかった。」と感想があった。

しかしながら、参加者が少なかったことから、次回は開催時期や募集方法を見直したい。



+チャレンジ「茶道教室」

今後の課題と対応方針

地域クラブへの活動にあたり、関係団体との連携強化は非常に重要である。

来年度、地域クラブ移行を進めるうえでは、他団体との関わりを大切に、より吹奏楽が楽しいと感じてもらえるよう取り組んでいきたい。

また、+チャレンジについては継続するが、参加者が増えるような仕掛けを、学校等と協調しながら進めて行く。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

本市では、実証事業期間（R5～R7）において、移行前の個人負担額（学校部活動の参加費用）以上に新たな負担を求めないこととし、保険料についても全額を市費で負担することとしているため、参加費用の負担実績はない。

今後の課題と対応方針

実証事業期間終了後（R8以降）については、校外活動である地域クラブの運営のため、公費負担の在り方を含め、適切な活動費（個人負担）を算出し、保護者へ負担を求めていく。

費用負担の件については、協議会（スポーツネットワークかくた部活動チーム：学校長及び部活動担当教諭もメンバー）等で議論しながら、取り組んでいく。

また、並行して、企業版ふるさと納税など、外部からの財源確保についても行う。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

吹奏楽部の活動場所は、楽器の保管場所やパート練習などを勘案し、「学校」が会場となる。

学校とのヒアリングにおいて、休日の学校施設の利用（誰もいない時に普通教室を利用すること等）について、「教職員が休日にも指導できることが望ましい」と意見があった。

新年度に部活動の顧問が決まってから改めて確認を行うが、学校、部活動顧問、保護者及び生徒の要望も考慮し、活動場所等の調整を行う。

今後の課題と対応方針

教諭（部活動顧問）が指導者であることを前提にしているが、将来的に指導者が外部になった場合も並行して検討する必要がある。

その場合の学校施設の管理については、あらかじめ学校とルールを決めておく必要があるため、利用ルールを作成するなど対応していきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

多様な体験機会の創出「+チャレンジ」の実施

取組の成果

両校の全生徒へ呼びかけを行い、①お菓子作り、②茶道教室を実施した。

いずれも、既存の部活動にない種目であって、先のアンケートでも希望者の多かったもの。

参加者は4名（申込時10名：当日欠席者6名）と少なかったが、専門の講師から直接指導を受け、参加者の満足度は高かった。

今後の課題と対応方針

企画（取組み）自体は学校等からも高評価いただいたが、冬休み初日のクリスマス前日であったこと、申し込み方法がチラシのQRコードから参加者個人が直接申し込むことが伸び悩みにつながった。来年度開催に際しては、この反省を活かしたい。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

令和 6 年度の実証事業においては、「吹奏楽部の地域移行」について、学校ヒアリングを通して、次年度での意向を進める準備ができた。

また、昨年に引き続き、多様な体験機会の創出を目的とする「+チャレンジ事業」を実施した。

●成果の評価

吹奏楽部については、令和 7 年度からの移行について、道筋を付けられたことは良かった。

一方、「+チャレンジ」においては、実施時期等の調整が不足していたため、内容は良かったが、参加者数が振るわなかったのは反省点である。

●今後に向けて

引き続き、コーディネーター・学校と協議を重ねながら、令和 7 年度中の地域移行を完遂することに努めたい。

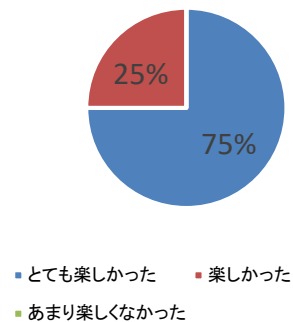
次年度も実施を予定する「+チャレンジ」については、内容や開催時期を見直し、多くの生徒に体験してもらえるように努める。

2.実証内容と成果②

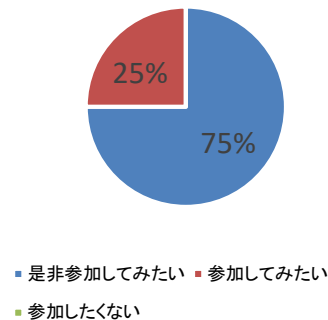
アンケート結果・参加者の声

●アンケート結果

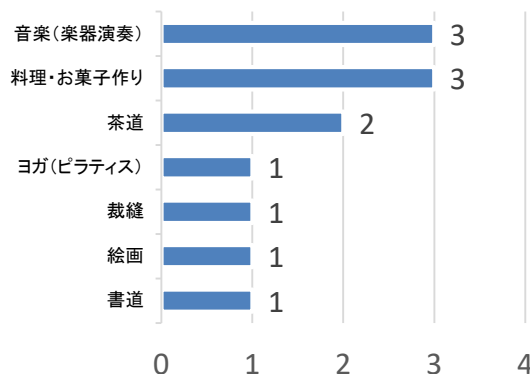
Q. 2 参加してみてどうでしたか？



Q. 3 今回体験した講座が地域クラブで市内にあったら、参加してみたいですか？



Q. 4 今後やってほしい講座、参加してみたい講座は何ですか？（3つまで）



Q. 5 その他（自由記述）

- ・初めてお茶を体験しました。楽しかったです。
- ・お菓子作りもかわいいキャラで楽しかったです。

●参加者の声

中学2年生（女子）

初めてお茶を体験しました。楽しかったです。

中学1年生（女子）

お菓子作りもかわいいキャラで楽しかったです。
また、参加したいです。

指導者（お菓子作り）

少人数の指導だったが、みんな素直に説明を聞いてくれて進めやすかった。「サンタ団子大成功」

指導者（お茶）

十分な指導時間を取ってくれてありがとうございました。
参加者にはお点前だけではなく、お茶の世界観を感じていただけたのではないかと思います。

2.実証内容と成果②

アンケート結果・広報資料



＋チャレンジ 開催

茶道体験会! **お菓子作り体験!**

＋チャレンジとは新たな自分の発見に繋がる活動になります。
新たな才能を発掘するチャンス!! みんなで参加しましょう!

場所 角田市市民センター
(住所:角田市角田牛館10)

受付 一階談話室 9:30より受付開始

日時 12月24日(火) 10:00～

持ち物 エプロン、三角巾

参加費 300円 (お菓子作り代、茶道代含む)
※当日、料金を徴収いたします。

お問合せ先
NIKKOアークかくだ 佐藤
(角田市総合体育館)
0224-63-3771

お申込みは
こちらから



【生徒への参加啓発チラシ】

「＋チャレンジ」参加者アンケート

Q1:学校名・学年は _____ 中学校 _____ 年

Q2:参加してみてどうでしたか(該当する番号に○)

1 とても楽しかった 2 楽しかった 3 あまり楽しなかった

その理由は?

Q3:今回体験した講座が地域クラブで市内にあったら、参加してみたいですか。

1 是非参加してみたい 2 参加してみたい 3 参加したくない

Q4:角田市では今回のような取り組みを今後も開催していく予定です。

「やってほしい講座」、「参加してみたいな」と思う講座は何ですか。(3つまでに○)

1 料理・お菓子作り 2 茶道 3 華道 4 書道 5 絵画 6 工作・木工 7 裁縫

8 ヨガ(ピラティス) 9 音楽(楽器演奏) 10 その他()

Q5:その他(自由記述)

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

【生徒へのアンケート用紙】

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【お菓子作り教室①】



【茶道教室①】



【お菓子作り教室②】



【茶道教室②】

2.実証内容と成果

地域文化クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

推進計画策定

ロードマップ策定

令和5年

学校現場との調整

生徒、
保護者への説明
(地域移行全体)

令和6年

学校ヒアリング
(要望の確認)

令和7年

地域クラブ活動の
開始

●ステークホルダー

教育委員、学校長、部活動担当教諭

●経過

スポネット会議の部活動チームにおいて検討を重ね、令和5年3月に「角田市における部活動の地域移行推進基本計画」を策定。

●実施にあたって生じた課題

特になし

●実施内容、工夫した点 等

在校生（1～2年生）全員とその保護者、教職員にアンケート調査を実施。チーム会議及びスポーツ推進審議会等の協議を経て策定した。

●ステークホルダー

学校長、部活動顧問、生徒及び保護者

●経過

学校ヒアリング及び教職員への説明会、保護者説明会を実施

●実施にあたって生じた課題

実施場所や方法など、近隣市町村に先駆けて実施したため、保護者や教職員の不安感を払しょくすることに努めた。

●実施内容、工夫した点 等

小学4年生以上の全世帯へ、「中学校の部活動だより」というチラシを不定期で配布し、現状や制度の内容について説明を行った。

●ステークホルダー

学校長、部活動顧問

●経過

学校長とのヒアリングにおいて、「指導者の選任にあっては、学校の希望を優先してほしい」旨の依頼があり、了解した。

●実施にあたって生じた課題

吹奏楽部の活動場所として「学校」が選定される中、休日に学校で活動できる体制・指導者の配置

●実施内容、工夫した点 等

教職員の“兼業”も含め、学校の希望を最大限に尊重することで、理解を図った。

3.今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

